

概要

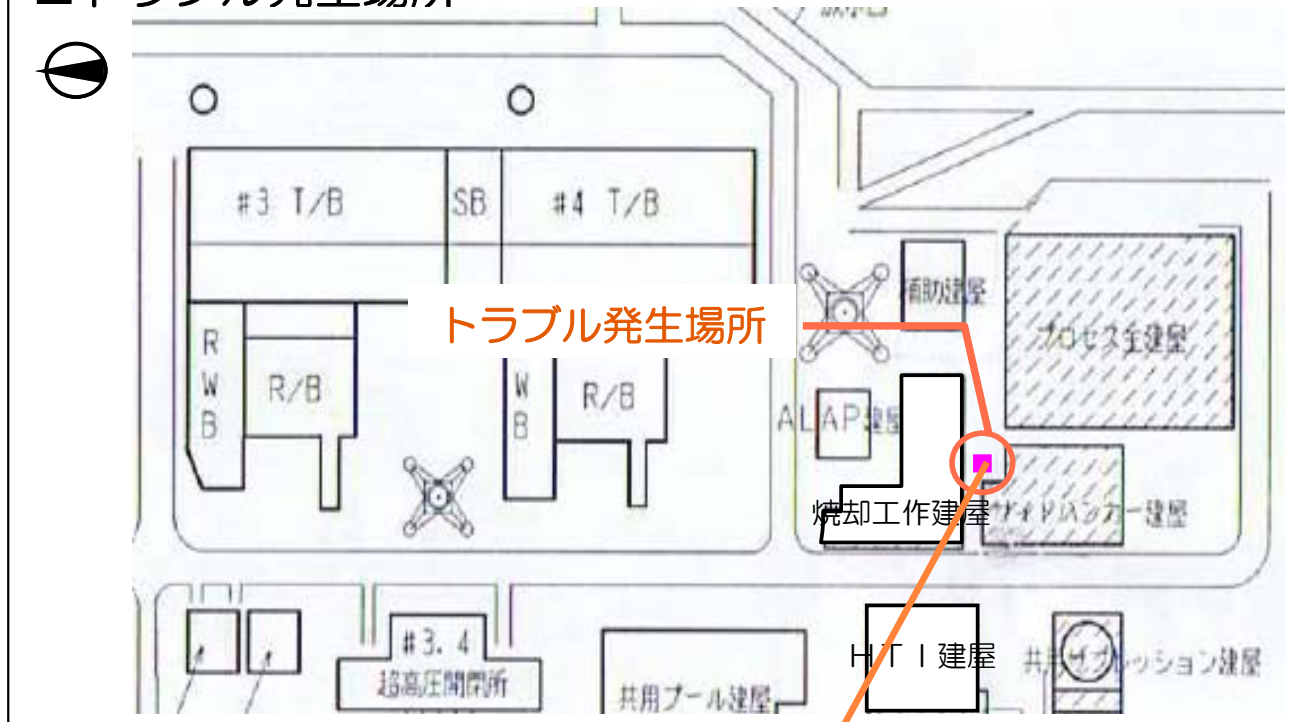
雑固体廃棄物減容処理建屋（高温焼却炉建屋：HT1）への地下水流入を防止するための、地盤改良に伴うボーリング掘削中に、地盤から約-1m地点のエフレックス管のケーブルが**損傷**した。

時系列

- 9:40頃 以下の所内電源設備において、地絡警報が発生。
- ・ 所内共通メタクラ（以下；M/C）1A、2A、3A、4A
 - ・ 共用プールM/C（A）
 - ・ 所内共通ディーゼル発電機M/C（A）
- 9:45頃 4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系のエアフィンクーラ（B系）が停止
冷却停止時温度は13.0℃（冷却停止時の温度上昇率は0.290℃/h）
[4号機使用済燃料プール代替冷却系一次系は運転継続。その他の設備に異常なし。]
- 9:52頃 「焼却工作建屋とプロセス主建屋の間の道路掘削工事において、誤ってケーブルを傷つけた」との情報が入る
- 10:21 損傷箇所の上流側にあるメタクラ「プロセス主建屋常用M/C」のしゃ断器3Bを「切」にしたところ、所内電源設備の地絡警報がリセット
- 10:27 ケーブル**損傷**に伴う発煙、消火開始（10:30消火）
- 11:52 消防にて「火災ではない」と判断
- 12:10 「プロセス主建屋常用M/C～4号機使用済燃料プール循環冷却設備（二次系）電源切替盤」の間のケーブルが損傷していると特定。
4号機使用済燃料プール循環冷却設備（二次系）電源切替盤の受電元を切替え
- 13:54～14:16 4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系を起動
冷却再開時温度は13.1℃

トラブル発生場所および現場の状況

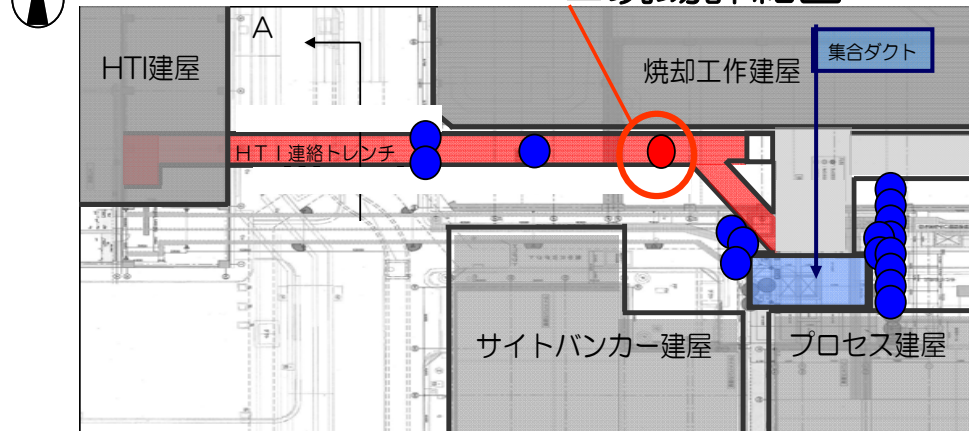
■トラブル発生場所



■現場状況



■現場詳細図



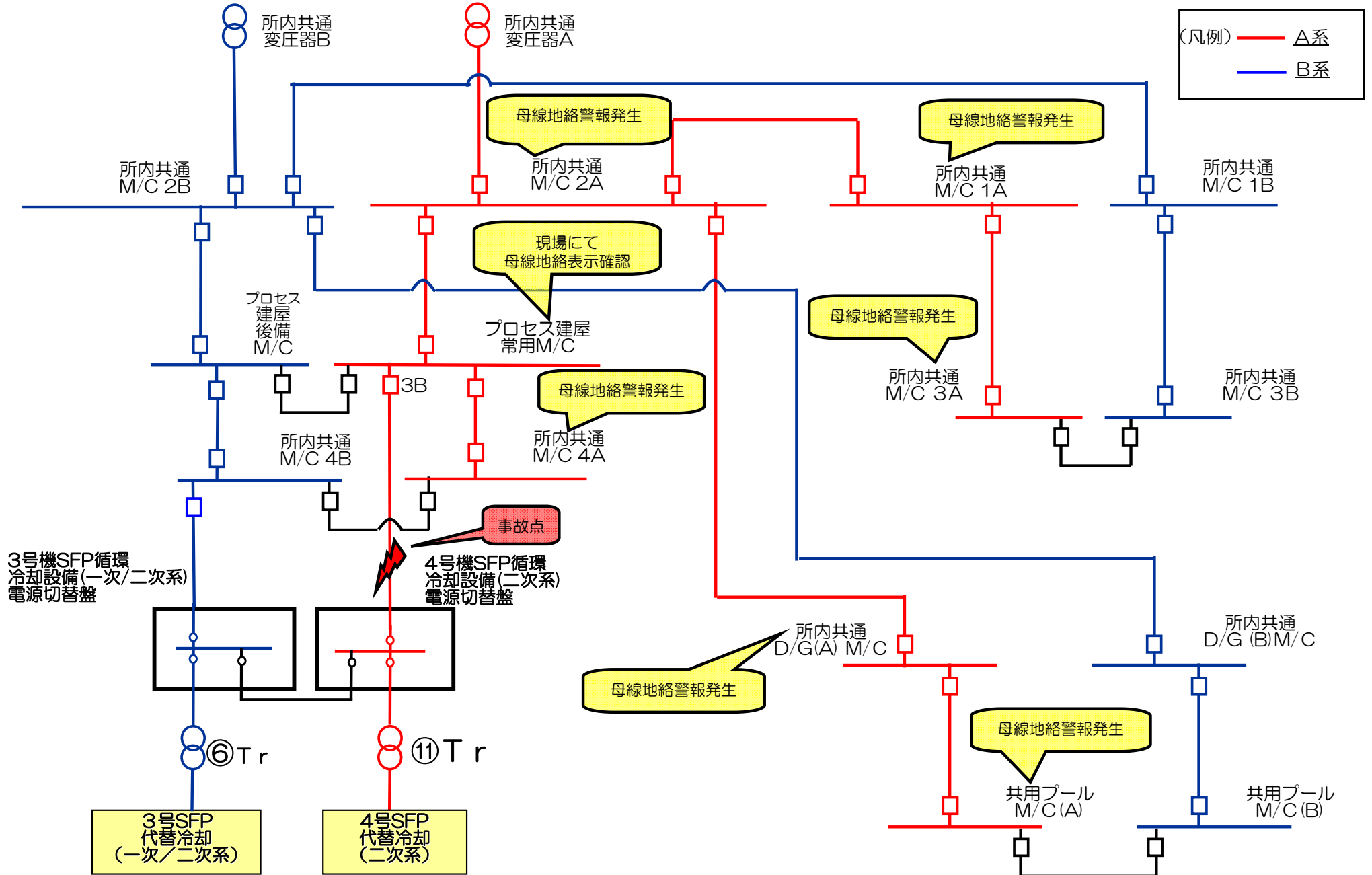
凡例

- 今回の工事場所
- 止水工事完了場所



当該箇所 (140φ)

地絡警報発生時の系統



復旧後の系統

